

長野・上田の事故現場付近

音響信号機を設置

各地で信号改善の要望

視覚障害者や盲ろう者が街中を歩く際、より注意を要するのが横断歩道の利用だ。安全に渡れるようにするための設備の適切な設置が求められる中、各地で当事者らが声を上げている。

【佐木理人・平井俊行】

今年1月末、長野県

上田市の交差点にタツチパネル式の装置に触れるだけで反応して青に変わったり、そのことを音響で知らせたりする信号機が設置された。この交差点近くの踏切で2017年、視覚障害者の男性が線路内に入り電車でひかれ亡くなる事故があった。その原因として

男性がこの交差点で道た。装置のパネルは上下2カ所ある。上のパネルは、視覚障害者の利用を想定したもので、触れると信号が赤だということを音声で告げ、青に変わると音響で知らせる。下のパネルは、触ると信号が青に変わるが、音響は作動しない。装置からはパネルの位置を知らせる報知音が定期的に出ていく。

上田市の視覚障害者福祉協会などの関係者ら6人が2月に現地を視察した。その結果、装置の設置位置が横断歩道の渡り始め部分につながるが点字ブロックから遠いところで、2分離れており、パネルに手が届かないことや行き

上田市に設置された音響信号機を
検証する中山幸男さん



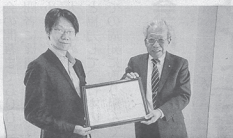
交わりの音で装置から

の報知音が聞こえにく
いことなどが分かった。更に、同会会長の
中山幸男さん(88、弱
視)が横断歩道を歩い
てみたところ、青信号
の間に渡りきれなかつ

た。中山さんは長野県
上田署に装置の位置
や音量の問題を指摘
し、青信号の時間延長
を求めた。時間延長は
すぐに実現し渡り切れ
るようになったが、そ
の他については「まず
音響信号機を設置した
ことを広く知ってもら
い、出てきた意見を集
約した上で対処できる
ものがあるか検討す
る」と回答されたとい

感謝状を受け取る
川島さん(左)

提供写真



弱視者らに見やすいよう開発された信号装置



中山さんは「設置の
前に相談されなかつた
のは、とても残念。他
の横断歩道への音響信
号機の設置と合わせて
この問題について
の手前」に設置。高さは
約120センチで、子供や
車椅子利用者からも見
つけやすい。既存の歩
行者用信号機と連動し
て、装置の両面にある
LEDライトが光る。

置書とへ
弱視者や高齢者らに
も役立つとして、当事
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

バイオリニストの川島さん

職業訓練充実に寄付

日本LHDに13年から毎年

世界的に活躍してい
るバイオリニストの川
島成道さん(47)が、日
本LHDに13年から毎年
約415万円、贈呈式が
あった。

川島さんは小学3年
生の時、海外旅行中に
処方された薬の影響で
視覚障害者に。10歳か

らバイオリンを習い、
桐朋学園大を経て、英
国王立音楽院を首席で
卒業。ソリストとして
日本と英国を拠点に活
躍している。昨年、デ
ビュー20周年を迎え、
今年3月に記念のリサ
イタルを開いた。
日ラへの寄付は、2
005年に同センター
で生演奏を披露した際
に、「利用者を支えた
い」と考えたのがきつ
30)へ。【澤田健】

青信号に変わったことを振動で知らせる
機能付きの信号装置



ている。県内をはじめ、
大阪にも向出して装置
の体験会を実施。その
内容でDVDにまとめ
た全国の盲ろう者団体
などに寄贈して、周知
に取り組んでいる。ま
た神奈川同様、未設置
の北海道でも視覚障害
者らが北海道警察へ設
置要望を続けており、
今後の動きが注目され
る。

大阪にも向出して装置
の体験会を実施。その
内容でDVDにまとめ
た全国の盲ろう者団体
などに寄贈して、周知
に取り組んでいる。ま
た神奈川同様、未設置
の北海道でも視覚障害
者らが北海道警察へ設
置要望を続けており、
今後の動きが注目され
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。

神奈川県内の盲ろう
者有志で「信号機
委員会」も設置を目指
して活発な活動を続け
る。